

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立磯路小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	港区
学 校 名	大阪市立磯路小学校
学 校 長 名	糸井 利則

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立磯路小学校では、第6学年 41名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立磯路小学校の結果概要

教科に関する調査では、平均正答率が国語61%、算数58%となり、国語・算数ともに大阪市及び全国の平均を上回りました。また、平均無解答率は国語2.8%、算数1.9%で、いずれも全国平均を下回りました。

質問調査では、「学校に行くのは楽しい」「先生や学校にいる大人に相談できる」「友達との話合いを通して考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる」などの項目で、肯定的な回答が大阪市・全国を上回りました。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」は72.6%、「情報の扱い方に関する事項」は56.1%で、大阪市・全国を上回りました。言葉や情報について理解し、活用する力に成果が見られます。一方、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は大阪市・全国を下回りました。文章から必要な情報を捉え、自分の考えを整理し、根拠を明確にして表現する力の育成が課題です。

【算数】

「図形」は59.4%、「データの活用」は50.0%で、大阪市・全国を上回り、図形について考察する力や、データを読み取り活用する力に成果が見られました。一方、「変化と関係」は36.7%で、大阪市・全国を下回りました。数量の関係を捉え、図・式・言葉などを関連付けながら、筋道を立てて考え、表現する力の育成が課題です。

質問調査より

「学校に行くのは楽しい」は95.4%、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」は88.4%、「友達との話合いを通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる」は93.0%が肯定的な回答となり、いずれも大阪市・全国を上回りました。安心して学校生活を送り、友達と関わりながら学ぶ学校づくりの成果が表れています。一方、授業時間以外に読書を「全くしない」と回答した児童が34.9%おり、日常的に本に親しむ習慣づくりに課題が見られます。

今後の取組（アクションプラン）

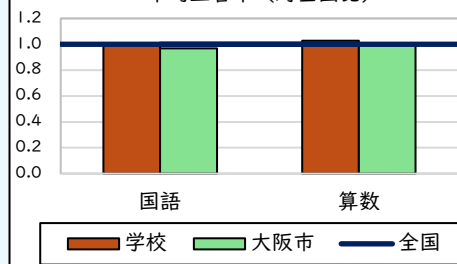
児童が安心して自分の考えを表現し、友達との対話を通して考えを深めることができるという本校の強みを生かし、「自分の考えをもち、伝え合い、考えを深める」学習活動をさらに充実させます。国語では、必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを表現する言語活動を充実させます。算数では、数量の関係を図・式・言葉などで表し、互いの考えを説明し合う活動を大切にします。また、学校での読書活動を充実させ、家庭とも連携しながら、本に親しむ習慣づくりを進めます。今後も調査結果や日常の学習状況を教職員で共有・分析し、継続的な授業改善に取り組めます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

平均正答率（％）

	国語	算数
学校	61	58
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4

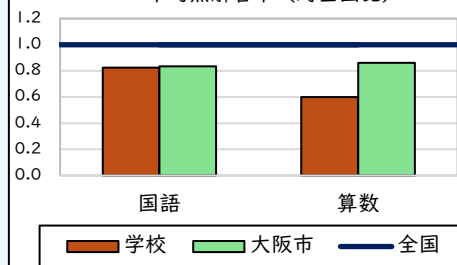
平均正答率（対全国比）



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.8	1.9
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2

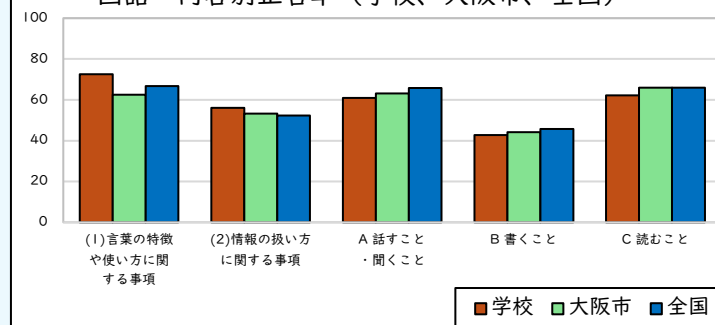
平均無解答率（対全国比）



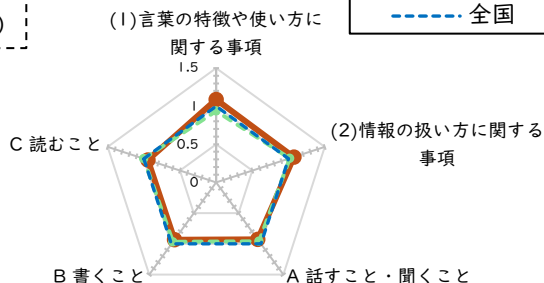
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	72.6	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	56.1	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	61.0	63.1	65.8
B 書くこと	2	42.7	44.2	45.7
C 読むこと	2	62.2	66.0	65.9

国語 内容別正答率（学校、大阪市、全国）



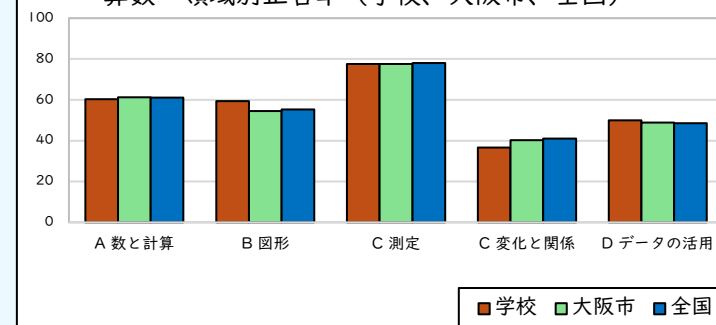
国語
内容別正答率
（対全国比）



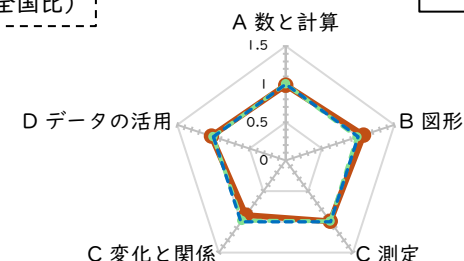
【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	60.3	61.2	61.1
B 図形	4	59.4	54.5	55.3
C 測定	1	77.5	77.5	78.1
C 変化と関係	3	36.7	40.3	41.1
D データの活用	4	50.0	48.8	48.6

算数 領域別正答率（学校、大阪市、全国）



算数
領域別正答率
（対全国比）



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

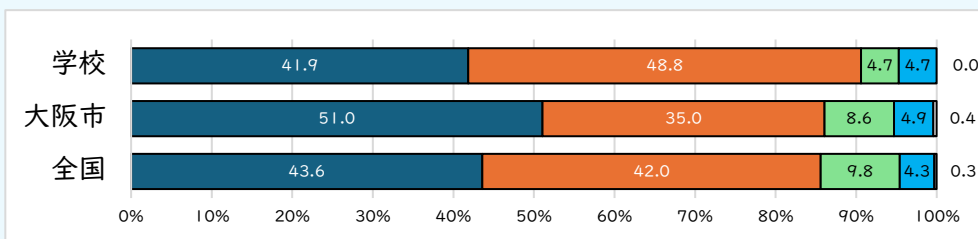
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

質問事項

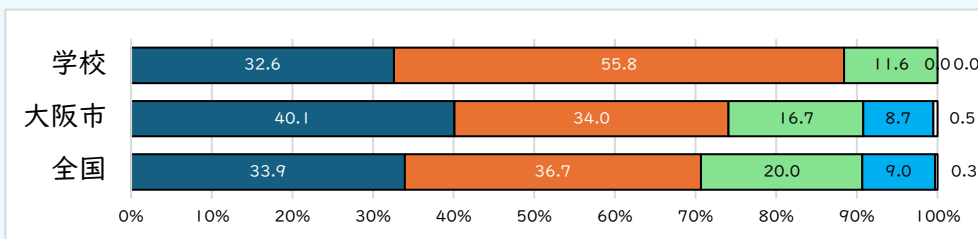
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



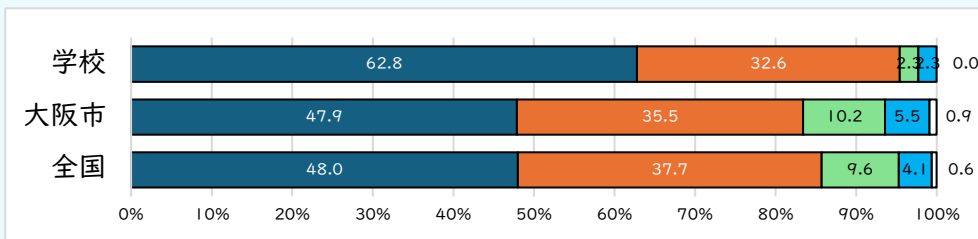
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(13)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
------	-------------------------------------



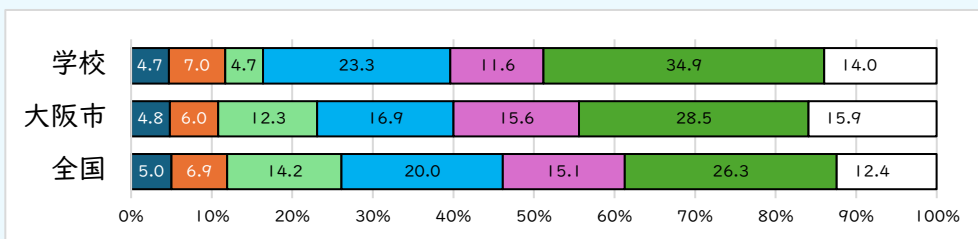
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか
------	------------------



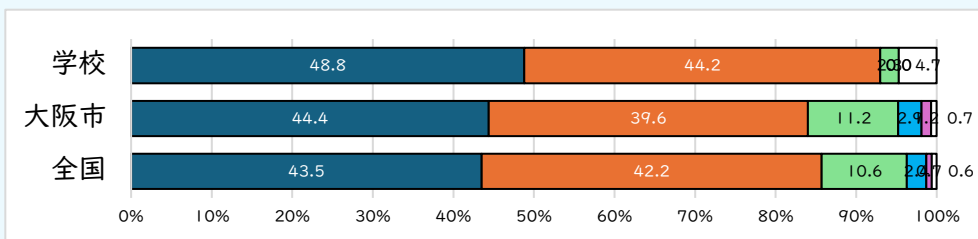
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(26)	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
------	--



- 1 2時間以上
- 2 1時間以上、2時間より少ない
- 3 30分以上、1時間より少ない
- 4 10分以上、30分より少ない
- 5 10分より少ない
- 6 全くしない

(42)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
------	---



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない
- 5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

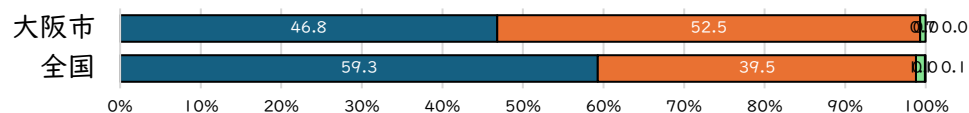
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(11)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

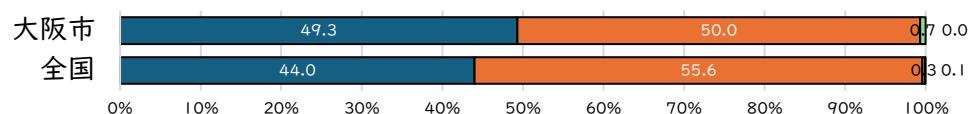


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(16)

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 1 十分に取り入れている

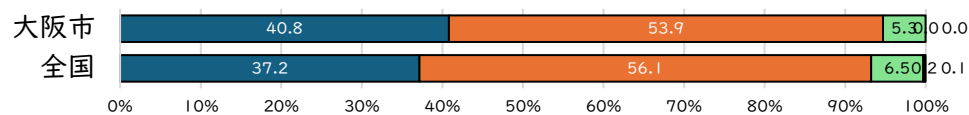


1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入れていない

(58)

児童が学びを深めるための指導改善に向けた取組として、教員がコンピュータなどのICT機器の効果的な使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか

【学校の回答】 1 当てはまる

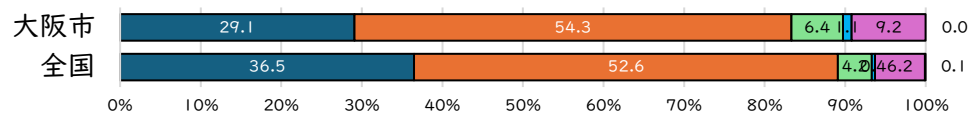


1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(79)

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか

【学校の回答】 1 そう思う

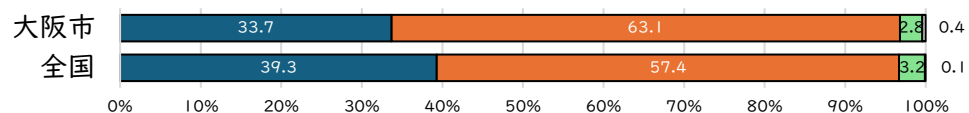


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない
5 取組を行わなかった

(84)

令和7年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

【学校の回答】 1 よく行った



1 よく行った
2 行った
3 ほとんど行わなかった